構想日本
www.kosonippon.org

2015.04
vol.40
NEWS

発行：一般社団法人構想日本
〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-9-2
エスパリエ平河町3F
電話：03-5275-5607
FAX：03-5275-5617

投票より無作為抽出!? ―民主主義の中身をつくろう

4月12日の地方統一選前半戦の投票率は知事選が47.14%、道府県議選が45.05%でいずれも過去最低を更新し、道府県議選では21.9%が無投票当選となった。
投票率で見る限り、国民の政治への関心は低下の一途です。

議員や候補者を批判するのは簡単ですが、つきつめると多くの国民が社会全体や政治を「他人事」と考えているところに原因があります。

民主主義は国民が社会のことを「自分事」として考えることを大前提としています。
そのためには、「無作為抽出」で選ばれた住民が「住民協議会」や「事業仕分け」など様々な形で自分の町の課題について考え議論することが大変有効です。

無作為抽出で選ばれた人たちにとって、これまで知らなかった地域の現状や課題を知り、意見を出しあうことで、町や社会のことがどんどん「自分事」となるのです。多くの参加者が「今日は面白かった。また参加したい。」と言います。

こうやって、無作為で選ばれた住民が政治や行政に参加することを積み重ねていけば、投票率も上がり議員も刺激をうけて形だけでない民主主義が育っていくのです。

無作為抽出の使い方はいろいろ

- 地域の将来を考える
  計画の策定
- 地域の課題を議論する
  住民協議会
- 税金の使い方をチェックする
  事業仕分け
- 公共施設のあり方を議論する
  施設仕分け

議会（会派）でも実施

神奈川県伊勢原市議会 創政会が選挙人名簿から無作為抽出で選んだ判定人による事業仕分けを実施。

新スタッフ　～2自治体から職員研修派遣の受け入れ！

4月から構想日本に新しいスタッフが2人加わりました。
2人とも自治体職員（浜松市、淡路市）です。

構想日本は、自治体職員の研修派遣を毎年受け入れています。
これまでに静岡県、三重県、岡山県、大阪市の職員が構想日本に派遣され、構想日本での経験をそれぞれの自治体で活かしています。

加藤秀樹の首尾貫徹

日本のマスメディアはほとんどコメントしていないが、昨年5月に東京虎の門にあるホテル・オークラの建て替え計画が発表されて以来、海外では『ニューヨーク・タイムズ』、『ワシントン・ポスト』、『エコノミスト』、『リベラシオン』、さらにはCNNなど、有力な新聞、雑誌が次々と特集を組んでいる。多くが取り壊しを惜しみ、再考を求める記事だ。
なぜ、日本の一ホテルにすぎないオークラの建て替えが、これほど話題になるのだろうか。

オークラは1964年のオリンピックに向け、世界に誇れるホテルを、と日本を代表する建築家や工芸家たちが力を結集し実現。開業以来、世界各国の首脳や著名人が定宿にし、愛されてきた。
彼らはオークラの建物が近代建築と日本文化の見事な融合と最高レベルの評価をしている。
つまり、このホテルは今や私的なビジネスの道具を越えて、世界的なレベルでの「パブリックな財産」なのだ。世界遺産になっているとも言える。だから今問われているのは、そのことを多くの日本人が認識しているかどうかなのだ。

この問題の本質は、日本全体の知性と誇りと公共精神が世界から問われているということなのだ。
海外からの批判はホテル・オークラの経営陣だけに向けられているのではなく、日本人ひとりひとりの行動に向けられている。私たちは、文化だ、レジェンドだといったことを「遠巻き」に言うのではなく、関係者の背中を押すような具体的な行動をとらないといけない。

詳細：加藤のYahoo!ニュースコラム（http://bylines.news.yahoo.co.jp/katohideki/）

代表　加藤秀樹

構想日本の動き　2015.01 ~ 2015.03

新聞・テレビ等メディア掲載 ： 19件
自治体（職員、議員）との動き ： 47件
大学・学生との動き ： 3件
その他 ： 2件

主なもの

＜新聞・テレビ等メディア掲載＞

■2015/01/21　朝日新聞
無形文化財への思い語る　第208回J.I.フォーラム
■2015/02/02　東京新聞
【私説・論説室から】なぜ「1億人」なのか
（代表 加藤秀樹コメント）
■2015/02/20　日本経済新聞（千葉版）
「貯金」確保に苦慮「市民巻き込み再建策を」
（総括ディレクター伊藤伸コメント）

＜自治体との動き＞

■2015/03/01　銚子市「医療シンポジウム　～これからの地域医療と公立病院のあり方を考える」
（代表 加藤秀樹）
■2015/03/14　屋久島町「職員研修会」
（総括ディレクター 伊藤伸）

＜大学・学生向け活動＞

■2015/01/24　千葉科学大学 サテライト大学院 講義
（総括ディレクター 伊藤伸）
■2014/09～　隔週木曜日　法政大学「NPO論II」講義
（総括ディレクター 伊藤伸）
■2014/10～　京都大学
（代表 加藤秀樹）

最近のJIフォーラムのご報告

第210回　3月25日（水）
統一地方選を『自分事』に
～投票はまちづくりの第一歩～

ゲスト　江藤 俊昭（山梨学院大学 教授）、増沢 諒（「食べる政治」代表）、安丸 国勝（福岡県大刀洗 町長）
コーディネーター　加藤 秀樹（構想日本 代表）

第209回　2月18日（水）
日本の財政、本当はどうなのか
～金融とあわせて考える～

ゲスト　池尾 和人（慶應義塾大学経済学部　教授）、小黒 一正（法政大学経済学部　准教授）
コーディネーター　加藤 秀樹（構想日本 代表）

第208回　1月26日（月）
無形文化に賭けた生涯

ゲスト　懸田 弘訓（民俗芸能学会福島調査団長）
コーディネーター　加藤 秀樹（構想日本 代表）

会員募集

構想日本は会員からの会費だけで運営しています。日本をもっと素敵な国にしたいと思っている貴方、是非会員になって構想日本の活動を支えてください。詳しくは…

TEL 03-5275-5607
www.kosonippon.org/info

及び同封の葉書・振込用紙をご覧ください。振込用紙は現在会員である方にも送付しています。